

発電事業については、屋久島における発電事業社は1社です。で、他に電源ができることはリスク分散にもなり、インフラ整備にもメリットがあります。今後も災害時や停電時の対応も含め、発電事業者・送電事業者・小売事業者で連携できる取組を協議し、電気の安定供給を図って参ります。

【畜産部】

Q 牛肉の価格の低迷について、過去にBSE発生時には、経済連から牛肉消費拡大の推進等あったが、現在の価格低迷に関して経済連からの後押しや、宣伝活動などを農協として進言は出来ないものか。

A 物価高の影響により牛肉消費が低迷しています。そのような中、経済連において牛肉輸出対策に加え、関東方面へ鹿児島黒牛PR（外食チェーンのフェア、TV番組のプレゼント企画等）を実施しています。今後もPR強化を要望していきます。

Q 子牛相場が低迷している中、子牛販売額の確保が厳しい状況

下で、経営も切迫しているため、子牛販売の最低価格を設定するなどの対策はしてもらえないのか。また、国が措置した支援事業は、あくまで九州沖縄ブロックの平均売買価格が基準のため、個人毎の販売価格が基準を大きく下回った場合、交付金額だけでは生産コストを補うことができない。

A 「肉用子牛生産者補給金制度」により、四半期毎の全国の子牛平均売買価格が5万6千円（税込）を下回った場合、それを補う補給金が交付されます。

補給金制度に加え、令和5年度は国が緊急措置した「和子牛生産者臨時経営支援事業」により、四半期毎の九州沖縄ブロックの子牛平均売買価格が60万円（税込）を下回った場合、その差額の75%分が奨励金として交付されました。令和6年度は「優良和子牛生産推進緊急支援事業」が措置され、同様に60万円（税込）を下回った場合、取組条件に応じて最大3万円が交付されます。今後も農政活動にて要請して参ります。

Q 家畜市場の運営者は経済連になると聞いたが、市場使用料（積立金等）が高いと感じる。各種手数料の使い道など内訳を教えてください。

A 市場手数料（せり価格（税込）×28/1000）と別に、市場管理費（1100円）、市場積立（4400円）・地域積立（1000円）を徴収しています。管理費を市場運営費用に、積立金を備災積立金および子牛購買者積立金に活用しています。

Q 最近、島外からの資本参入が増えてきていると聞く。畜産でも島外の業者が屋久島で肥育を行うとのことだが、どこまで進んでいるのか教えてください。

A 屋久島にて、指宿市の（有）水迫畜産が肥育牛300頭規模の牛舎を設置。令和6年4月から導入を開始しています。

Q 種子島子牛セリ市の購買者誘致について、コロナ禍で実現できず、購買者が減少傾向にある。以前は振興会役員とJAで購買者誘致を行っていたが、今

年3月に計画されていた購買者誘致は取りやめになっている。屋久島では若い後継者も育ってきており、若い人材の研修も兼ねて、購買者誘致を前向きに検討してほしい。

A 令和6年度は、子牛購買者誘致に積極的に取り組みます。

Q 畜産の肥育牛センターと育成牛センターも大きな赤字になっている。今まで、子牛せり価格の下支えとなってきたことは承知だが、赤字が続くようであれば閉鎖も考えるべきではないか。

A 現状、牛枝肉・子牛相場の低迷が続くため、肥育牛センター・育成牛センターにおける収益確保が困難な状況です。今後のセンター運営について、実績に基づき引き続き検討して参ります。

【企画管理部】

Q 令和5年度決算の赤字の大きな原因はどこにあるのか。

A 生産資材価格の高騰や、子牛相場の低迷等の影響により農家の経営状況が悪化し、貸倒引



【全体運】あれもこれもと気持ちがせきそう。動く前に状況整理を。冷静になればなんてことありません。優先順位を見極めて
【健康運】生活が不規則にならないように早寝早起きを心がけて
【幸運を呼ぶ食べ物】カボス